

特集

東庄と相撲

# わが町に相撲がある



## 東庄と相撲の関わり

東庄の夏の風物詩である諏訪神社での相撲。毎年7月下旬に笹川の相撲まつり、8月上旬から中旬にかけては、出羽海部屋（あづまうみ）の笹川夏合宿が行われています。諏訪神社の夏は、多くの人々が訪れ、にぎわいを見せます。

### 笹川の相撲まつり

笹川の相撲まつりといわれる諏訪神社秋季大祭の奉納相撲は、氏子の仲内、根方、大木戸、宿浜、新田、菰敷、鹿野戸の7区の輪番制で、現在は7月の最終土曜日に行われ

ます。

当番区はまつりを運営し、土俵場管理者の指導で、境内の土俵作りを行い、当日の勸進元（主催者）を務めます。相撲をとるのは、昭和中期ころまでは氏子の若者で、地方力士も活躍しました。近年は氏子の子どもたちと自衛隊員が中心となっています。千秋楽を告げると、次年度の当番区に土俵上で引き継ぎます。また、昔から大相撲力士を招き、土俵をにぎわせてきました。現在も、大相撲力士が見物人を楽しませています。



国道356号を香取市方面から東庄町へ入るとすぐ、JRの踏切手前にある看板「わが町に相撲がある」。その真意、東庄町と相撲の関わり、出羽海部屋との交流を探ります。

## 笹川繁蔵と相撲

諏訪神社での奉納相撲の発  
生は、つまびらかでありませ  
んが、江戸期には盛んであつ  
たようです。

特に、天保水滸伝の主人公  
である笹川繁蔵は、子どもの  
ころから相撲が強く力自慢  
で、力士となるため江戸に出



▲諏訪神社にある野見宿禰命の碑

て、千賀ノ浦部屋に入り、1  
年ほど在籍したといわれてい  
ます。諏訪神社境内の土俵向  
こう正面に、相撲の神様とい  
われる野見宿禰命の碑を建立



▲奉納相撲での自衛隊員による取組

したのが、繁蔵でした。

碑の建立は、繁蔵の相撲好  
きはもちろんのこと、風水  
害・冷害で困窮した農民救済  
のための資金調達でもありま  
した。諏訪神社の秋季大祭の  
奉納相撲に合わせた落成式  
で、盛大な花会を開催。奉納  
相撲も大盛況で、これよりあ  
との秋季大祭は「笹川の相撲  
まつり」「繁蔵まつり」ともい  
われるようになりました。

## 町内で盛んだった相撲

現在、東庄での相撲は、笹  
川地区だけですが、平成16年  
ころには、夏目地区でも、大  
相撲・木瀬部屋の夏合宿が行  
われていました。2年ほど行  
われ、当時は多くの人が見学  
に駆け付けていました。

また、東大社にも土俵があ  
り、昭和40年代まで氏子の皆  
さんによる奉納相撲が行われ  
ていました。



▲東大社にある野見宿禰命の石像

# 奉納相撲と出羽海部屋

## Interview

## 地域の祭りを大切にしたい

笹川出羽海後援会 前会長  
海上 義治さん



かつてこの辺りには、強い  
地方力士が各地にいました。  
奉納相撲は、そういった地方  
力士や町の青年団が活躍し、  
諏訪神社はとにもぎわって  
いました。地方力士が減少し、  
ひいきの力士がいなくなり、  
青年団も出なくなると、人々  
の関心は徐々に薄れていきま  
した。

奉納相撲を盛り上げよう  
と、昭和60年に祭事当番で  
あった当時大木戸区長の宮内  
幸司さんが、出羽海部屋の  
鷺羽山関(先代の出羽海親方)  
に、関取と懇意にしていた  
五十嵐正春さん(大木戸)を通  
じて参加をお願いしました。  
関取には快くご承諾いただき  
、奉納相撲では、子どもた  
ちとの親睦相撲で観客を  
沸かせました。

翌年に引退した関取は、  
境川親方として、部屋の  
力士と一緒に笹川小学校  
の土俵開きにも参加され  
ました。児童に相撲や相  
撲体操を指導し、いまだ  
も続いています。  
その後も奉納相撲や、



▲場所中では出羽海部屋の星取  
表を付けて力士を応援

出羽海襲名の披露祝賀会を鯉  
屋で開催するなど、交流を深  
めていた平成13年に、出羽海  
部屋の夏合宿について相談が  
ありました。歴史と伝統のあ  
る笹川の諏訪神社の土俵で、  
大相撲力士の朝稽古を見るこ  
とができたら素晴らしいとい  
う想いと、「相撲ファンを増  
やし、奉納相撲の一層の発展  
につながるのでは」と、受け  
入れを決めました。

有志による実行委員会を結  
成し、宿舎や土俵、清掃や見  
物人の対応などに夢中で当た  
りました。2年目以降は反省  
を生かし、今年で19回目とな